

**講座
8**

生・老・病・死を考える

オンライン併用

【会場定員】70名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員13,380円 1年会員15,060円 聴講生20,080円

【歴史・文学・人間学】人間学 講座 【時間】 毎回13時00分～14時30分（計12回）

概要 私たちは、なにを願い、なにを楽しみ、なにを悲しみ、それらをどのように求めたり、表現したりしているのでしょうか。
私たちの生に関わるさまざまなことから、生・老・病・死という視点から、それぞれの分野の講師にじっくり語ってもらいます。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/2(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	微笑みと日本人——わらいは何をうつすのか	日本女子大学准教授 伊藤 由希子
2	10/9(木)		日本の民衆思想と自然信仰①	哲学者 内山 節
3	10/16(木)		日本の民衆思想と自然信仰②	
4	10/30(木)		人生を振り返る“記憶のしくみ”——認知心理学の観点から	十文字学園女子大学教授 池田 まさみ
5	11/13(木)		AIによる死者の再現で、私たちは何に出逢っているのか	早稲田大学教授 師 茂樹
6	11/27(木)		道徳と生き方の違いを考える——路面電車問題の思考実験から	立正大学准教授 竹内 聖一
7	12/4(木)		なぜ「初心」を忘れてはいけないのか——世阿弥の教育論	上越教育大学准教授 玉村 恭
8	12/11(木)		なぜ「救い」を求めるのか？	東京大学名誉教授・ 大正大学客員教授 島藺 進
9	12/18(木)		究極の愛と狂気の狭間には何があるか——映画を作る創造力の源	映画監督 梶間 俊一
10	1/22(木)		詩歌と人生——人生の道連れとしての和歌・俳句・漢詩——	東京大学名誉教授 藤原 克己
11	2/5(木)		人間を人間たらしめるものはなにか——公と私のあわい	日本女子大学准教授 伊藤 由希子
12	2/12(木)		日本を診る、日本人をしる	社会構想大学院大学教授 先崎 彰容